

平成29年度専門家派遣事例

関 東

平成30年3月

目次

都道府県	支援元機関名		ページ
	企業名	支援テーマ	
茨城県	公益財団法人茨城県中小企業振興公社		1
	大一機材工業 株式会社	生産性向上に繋がるレイアウト改善と生産方法変更支援	
栃木県	栃木県よろず支援拠点		2
	有限会社 小堀材木店	長期勤務者を含めた人材を活かした就業規則の見直し支援	
群馬県	群馬県よろず支援拠点		3
	群馬精工 株式会社	ISO移行審査対策とBCP構築に向けた効果的運営支援	
群馬県	公益財団法人群馬県産業支援機構		4
	有限会社 矢内製作所	従業員への事業承継へ向けた社内の協調体制の構築	
埼玉県	さいたま商工会議所		5
	Norman	スクワランオイルのリブランディング・販路拡大支援	
千葉県	公益財団法人千葉県産業振興センター		6
	合同会社 WOULD	地域資源を活用した風力発電の事業化についての支援	
東京都	巣鴨信用金庫		7
	大木産業 株式会社	売上10%UPに繋がった事業承継計画策定支援	
神奈川県	藤沢商工会議所		8
	宝船堂	ITを活用した販路開拓から新商品開発へ繋がった支援	
新潟県	公益財団法人にいがた産業創造機構		9
	Berries(ベリーズ)	商品コンセプトを生かしたパッケージデザインづくりの支援	
山梨県	甲府信用金庫		10
	日川中央葡萄酒 株式会社	ラベルデザイン刷新に伴うブランディング支援	
長野県	長野県よろず支援拠点		11
	クロスエーエム 有限会社	自社で更新可能なHPの作成支援で売上30%向上を目指す	
静岡県	遠州信用金庫		12
	有限会社 松野エクスプレス	平常時にも生かせ、重要サービスを絶やさないBCPの策定支援	

支援体制

専門家

御代川 忍 氏

支援

地域

いばらき中小企業サポートネットワーク

構成員

公益財団法人茨城県中小企業振興公社

相談

企業

大一機材工業 株式会社

業種：製造業
従業員：13人
資本金：4,800万円
創業：平成2年
住所：茨城県笠間市安居2561-2
企業概要：建設用の建材を運ぶハンガーパレット等の製造販売並びに関連商品のリースレンタル業務

支援概要

支援の経緯

本企業は建設現場で建材を運ぶハンガーパレットを製造販売している。製品の加工工程は、角材カット、プレス、溶接、組み立て、メッキ、仕上げであるが、下記のような課題を抱えている。

- ・各部品が大きく、重いため、作業への負担が大きい。
- ・仕掛品のサイズが大きく、広い保管場所を必要とするうえに、移動に時間を要する。

過去に独自の改善を進めてきたが、作業への負担が少なく、安全でスムーズな生産方法を外部の意見を取り入れながら確立したいと当機関に相談があった。

派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

当機関でヒアリングを行ったところ、社内での改善取り組み意識は強いが、手法が分からないことが課題であった。そこで大手製造業の現場で豊富な管理・監督業務経験を有しており、総合的な方向付けや課題解決の能力に優れている本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

本企業の製造現場を観察し、モノと情報の流れの現状を把握。同時に物の滞留に焦点をあて、ネック工程を特定した。「歩く」「運ぶ」といった付加価値の無い仕事をしている時間が長い事を指摘し、人の仕事を「動き(探す、歩く、運ぶなど)」と「働き(切る、曲げる、取付ける、溶接するなど)」に分け、動きの時間を働きに変えるよう指導した。例として、重量のあるハンガーパレットを10台ずつフォークリフトで床に並べてから組立作業を行う「まとめづくり」を、2人がチームとなり1台ずつ組み立て作業を行う「1個流し」に変えることで、部品取付けの度に発生していた無駄な歩行や部品搬送作業を無くした。「動き」を「働き」に変える改善は、フレームの材料切断から穴あけプレス・溶接に至る流れの工程にも横展開をはかり、材料や部品の移動距離の短縮や上下搬送の削減を行うよう支援をした。

10台ずつのまとめづくり



成果

ハンガーパレット組立の「10台まとめづくり」から「1個流し」に変えたことにより、時間当たりの生産数が約20%向上した。また、治工具や部品を作業者が取りやすい位置に近づけることにより、歩行や持ち運びの時間「動き」を削減。付加価値の低い作業を可能な限り少なくする改善運動を工場内で展開できた。これらの改善活動の結果、売上10%UP実現につながった。社員に対し、作業を観察して「動き」か「働き」かの判断をする指導を行ったことで、今後の自主的な改善計画の実行が期待できる。

2人1組の1個流し



専門家の声

氏名：御代川 忍
保有資格：
東京大学ものづくり経営研究センター
「ものづくりインストラクター」
専門分野：生産管理、生産性向上
専門家の声：

社長をはじめ、メンバーの改善意欲が高く、改善計画が着実に実行できた。これを続けることでさらに大きな改善効果が期待できる。



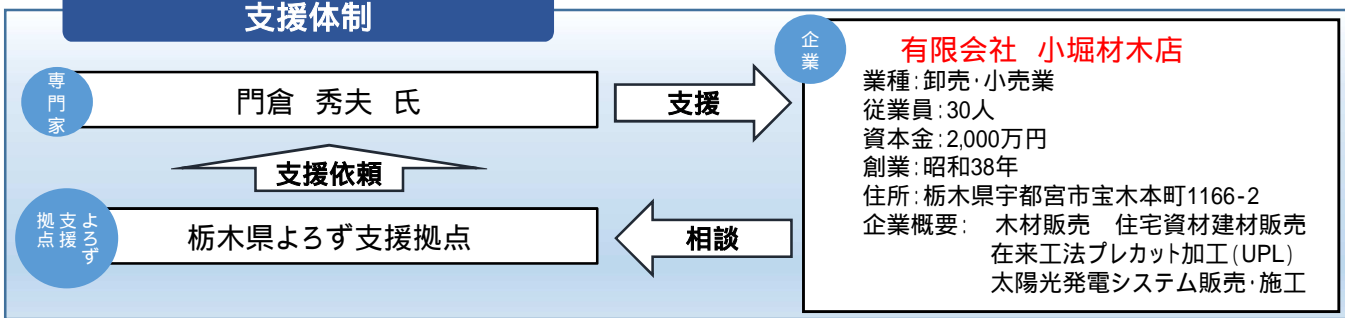
事業者の声

御代川先生のアドバイスで、社員一同改善する意識を共有することができました。なかでも御代川先生のご提案の「1個流し」作業は、無駄な動きや作業を少なくすることによる効率の改善だけでなく、モノの流れの適正化からレイアウト変更することで、スペース確保さらには安全向上にもつながりました。その結果、今後の新規設備導入への筋書きが見えるようになってきました。今回のご支援で改善意識を社員一同、共有することができ、社員のやる気が深まったと思います。御代川先生には感謝いたします。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0031000000oysh4AAA>

支援体制



支援概要

支援の経緯

本企業は職場のルールである就業規則の見直しを長期間実施しておらず、定年制度や育児・介護休業、諸手当の在り方など、検討の必要性を感じていた。また、新規の人材確保が難しくなっており、本企業の業種・規模・地域と照らし合わせて適正な賃金水準であるのか、日常の労務管理における疑問と不安が発生していた。そこで、今後の人材活用や若年者の新規雇用に際して、社会情勢の変化に対応する労務管理体制を実現するため、当拠点に相談があった。

派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

当拠点によるヒアリングの結果、法的情報の提供や単なる規則を策定するための助言にとどまるのではなく、本企業の現状課題を把握した上で、未来志向で労務を捉え、策定後の規程運用に至るまで積極的に関与いただける専門家を選定する必要があった。そこで、金融機関出身で企業経営の視点を有し、労務管理から人事制度構築まで幅広いコンサルティング経験と実績のある本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

本企業における就業規則や協定書の現状について確認するとともに、現状の労働法制や就業規則の重要性についての理解を進めた。例えば、給与支払において給与規程にない手当が支給されていた。また、育児介護休業法における「パパママ育休プラス」の取得など、従業員が目的を持って調べれば、必要な情報を簡単に把握できる時代であるため、最新の法令に準じていない規則・規定は従業員の不信を招くことを多くの事例をもって説明。就業規則は最低1年に1回見直すことを提案した。

少子高齢化といわれ、人材確保が難しい時代、在籍する人材が長期勤務していることは本企業のすばらしい長所であり、それを活かしていくことが重要である。賃金だけでなく、お互いに協力し合う家族的な風土が醸成されていて、人材を大切にしている方向性を強く感じることができたため、会社としてどう表現していくかの方法の検討を支援した。



改定した規程類

成果

「就業規則がなぜ、大切なのか？」の理解を深められた結果、就業規則を単純に改定するのではなく、従業員へのヒアリング実施により個々の意見を丁寧に吸い上げて就業規則の見直しを実施した。もともと経営者と従業員の距離感が近い本企業であったが、今回の規則改定によりさらに距離感が縮まった。人材の採用においても、単に賃金水準の引き上げが人材獲得につながることを理解し、世代間で求める社会的ニーズをしっかりと把握できたことで、多様な人材が生き生きと働ける礎ができた。



社員全員の集合写真

専門家の声

氏名：門倉 秀夫
 保有資格：社会保険労務士
 専門分野：人事制度構築
 専門家の声：

労務的な制約は経営者にとってコスト的にも非常に負担がかかるものですが、社会的変化に対応した人事労務体制を構築することが、企業経営の発展には重要な要素であると考えます。



事業者の声

なかなか見直し改定ができなかった就業規則でしたが、時代にも弊社の従業員にも合うように考えてくださいました。とても良い就業規則が出来上がったと思います。御提案いただいた、年1回の見直しも意識しながら、運営したいと思います。ミラサポ、門倉先生に感謝しております。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0031000000SmSNkAAN>

支援体制

専門家

下田 雅博 氏

支援

企業

群馬精工 株式会社

業種：製造業
従業員：107人
資本金：1,000万円
創業：昭和43年7月8日
住所：群馬県前橋市朝倉町3-31-8
企業概要：超高精度アルミニウム合金
冷間鍛造

支援依頼

支援拠点
よらさぽ

群馬県よろず支援拠点

相談

支援概要

支援の経緯

本企業は自動車産業向け及び他業種へ冷間鍛造の精密プレス部品を製造、供給しており、高い技術力を持つ優良企業である。各種精密プレス機械装置を数多く備え、関連工場内には金型設計と金型製造部門を持ち、顧客要求「短納期・小ロット」に対応し「量産品の製作から生産管理全般」をシステム化。自動倉庫の導入をはじめ、資材管理、工程管理、品質管理、VA活動にも高い評価を受けている。ISO9001-2015年版の改訂・移行審査が迫っていると同時に、大手取引先よりBCPについての対応も求められていたため、当拠点に相談があった。

派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

当拠点でヒアリングを行ったところ、ISOの移行審査にあたり、品質・環境マニュアルと2015年版に対応した社内管理体制、有効な内部監査の実施の見直しなどに不安要素があり、専門家の助言を求めている。

BCPについては「協会社・部品供給企業のリスク対策」を盛り込んだ支援を実施することとなった。情報システム大手企業出身で、経営管理やITを熟知し、情報技術の指導、リスクアセスメントの指導ができるISO審査員であり、支援実績が豊富で、ミラサポでの評価も高い本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

ISO9001:2015年改訂版の規格改訂(改正)要求事項の狙い、着眼点を解説しながら、特に経営課題に関する経営アセスメント分析手法などの助言を行った。併せて、本企業の今期重点課題であり、大手取引先から対応を求められていたBCPについての指導を行った。経済産業省が推進しているBCPのガイドラインと、BCP管理帳票のひな形をベースに、具体的な事例を挙げながら様式を活用、短時間でBCP策定指導を行った。

規格改訂に関する解説と助言



成果

ISOに関しては、本企業が事前に準備していた内容をベースに、事例を交えた指導の結果、品質マニュアルの改訂作業が完了。品質保証体系図、関連帳表類、該当文書類(規定、手順書、標準書)などとの関連性、整合性を整理でき、移行審査への準備が万全となった。

BCPに関しては、事象発生以降の時系列をイメージし、重要なポイントをしっかり認識させることができ、本企業自身によるBCP作成が可能となった。

BCP策定に関する解説と助言



専門家の声

氏名：下田 雅博

保有資格：ISO9001・14001審査員 情報処理技術者

専門分野：ISO、BCP、IT、HACCP等

専門家の声：BCPは大規模自然災害の特定以外に、「基幹情報システムの大規模障害」、近年では、「竜巻、バイオハザード」などが想定される。災害発生直後から、直ちに「BCPマニュアル」のもと、「復旧プロセス」が発動され実行できる仕組みづくりを助言、指導しました。



事業者の声

この度、群馬県よろず支援拠点を通してミラサポ専門家派遣をご利用させて頂き、8月に実施したISO2015年版への改訂更新・移行審査を無事終えることができました。マニュアルを新たに作り直す事から内部監査員の育成に至るまでをとってもわかりやすく助言・ご指導いただきました。また、BCPに関しましては、経営リスクの間換え方や進め方等、アドバイスを頂きました。現在、自社の実情に基づいたBCPの作成を進めております。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0035F0000t4L96QAE>

支援体制

専門家

清水 邦宏 氏

支援

P
F
地域

群馬県中小企業支援プラットフォーム

機
関
成

公益財団法人群馬県産業支援機構

相談

企業

有限会社 矢内製作所

業種：製造業
従業員：18人
資本金：500万円
創業：昭和40年
住所：群馬県伊勢崎市波江町2368-16
企業概要：金属部品の仕上げ加工

支援概要

支援の経緯

本企業は鑄造部品のバリ取り加工を行う製造業である。昭和40年に現社長の父が創業し、平成2年に実弟が事業承継。平成8年に実弟が死去したため、現社長が就任し現在に至る。女性社長として20年あまり頑張ってきたが、自身の年齢も73歳となり引退を考えるようになった。事業承継について取引金融機関と話し合う過程で専門家の支援を仰ぐことが必要との結論となり、当機関に相談があった。

派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

社長には相続をする親族がいないため、当初はM & Aも含めた幅広い視点で事業の引継ぎを考えていた。しかし機関によるヒアリングの過程で、従業員の中には後継候補となる人材もいることがわかり、熟慮のすえ親族外承継を決定するに至った。その結果、支援のテーマが後継者の育成に絞られ、社長塾講師等の経験が豊富で後継者教育のエキスパートである本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

まず社長と後継候補者を交えたディスカッションの場をつくり、本企業の抱える経営課題の洗い出しを行った。スムーズな承継の阻害要因に対し解決の優先順位をつけることが目的であったが、後継候補者に対する「経営への参画意識」の醸成につながった。限られた回数の中で効果的な成果を出すべく、組織マネジメント手法にテーマを絞り込んだ。「経営とは何か」「リーダーシップとは」「コミュニケーションのとり方」「コンプライアンスについて」「リスクマネジメント」「ビジネスマナー」など経営者としての基礎的知識の修得を中心に支援を行った。



経営課題の洗い出しの様子(上)(下)

成果

本企業が支援の経過や内容をオープンにして全従業員に周知していたことで、経営者の交代に対する全社的な認識共有がなされた。支援を通じて職場管理者、後継候補者らが自らの役割を再認識し、誰が新しい社長になっても一枚岩となって事業運営ができる体制に近づけた。事業承継の実現には組織づくりなど社内の協調体制を構築しておくことが重要であることに気づき、即座に行動できたことが今回の支援の大きな成果であった。



専門家の声

氏名：清水 邦宏
保有資格：中小企業診断士
専門分野：経営全般、経営再建、人材育成
専門家の声：
何事にも協力的な社風で企業の一体感を感じました。事業承継がより一層の企業の発展につながるものと期待しています。



事業者の声

清水先生にご支援をして頂くまでは、事業承継とは単に後継の社長を決めることだと考えていただけでした。やるべきことの多さと長い時間が必要となることがわかり驚いています。今後は金融機関や税理士さんと相談しながらひとつひとつ作業を進めていつもりですが、やはり大切なことは、従業員の理解と協力、取引先との信頼関係など目に見えないものの承継ではないかと考えています。そのことに気づくことが出来てとても有意義なご支援でした。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0031000000RxijUAAR>

平成29年度専門家派遣事例

支援体制

専門
家

高橋 憲示 氏

支援

企
業

Norman

業種：卸売・小売業

従業員：2人

資本金：-(万円)

創業：平成26年

住所：埼玉県さいたま市南区内谷4-15-9-201

企業概要：スクワランオイルの卸売小売

支援依頼

地
域

彩の国中小企業応援ネットワーク会議

機
構
関

さいたま商工会議所

相談

支援概要

支援の経緯

本企業は40年の歴史をもつ、天然由来成分の100%スクワランオイル「ノーマン」の卸売・小売業者である。平成26年に、この商品の素晴らしさを沢山の人の知ってもらいたい。また、肌のトラブルに悩む人のお役に立ちたいとの事業者の強い思いで事業を継承し、卸売中心の販売をしてきた。しかし、卸売業者の高齢化による廃業・閉店により、売上減少傾向にあり、この事業の建て直しを進めようと決意した。しかし、どう進めてよいか分からず当機関に相談があった。

派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

当機関がヒアリングをしたところ、平成26年に当事業を先代より引継いでから、卸売中心の販売であり、小売りは来店客中心の守りの営業であった。卸売業者の廃業、ご愛用者の高齢化により、売上が減少傾向であることが分かった。

新たな販売先の開拓を図るため、卸売中心の販売から個人対象の小売に販売活動を転換すること、及び商品のリブランディングが課題と判明した。そこで、ブランド戦略・販路拡大に支援実績が豊富な本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

本商品である「ノーマン」はスクワランオイルの基礎化粧品である。これまでは、30～50代の一部の女性のみをターゲットとしていた。そこで、対象顧客の再検討を行い、リブランディングに係るパッケージデザインの一新、HPの開設について、提案及びアドバイスを行った。また、詳細にヒアリングしていくと、営業活動方法・顧客管理・販売管理等の社内営業体制が確立できていない状態にあることがわかったので、具体的には、対象顧客を男性を含めた0歳から100歳として、ターゲットを広くすること、また、社長の思いや新しいコンセプトに合わせたアイコンとトレードマークの作成とあわせ、FacebookとHPのWeb作成、個人販売代理店の組織化について支援を行った。

家庭に一本のスクワランオイル



0歳からのスキンケア

「新しいアイコン」

成果

一新した商品イメージ(下)

リブランディングにより新しくアイコンとトレードマークを作成することでパッケージを一新した。

また、商品のPRとあわせて社名を「ジェー・ピー・エス」から、「Norman(ノーマン)」に変更した。

販路拡大策としてFacebookおよびHPを作成、母子家庭の母親の就労支援となるよう展開を図るべく、個人販売代理店「ノーマンレディー」の募集を開始、公益的な事業によって広く周知する仕組みを構築することで自社の弱みであった人員不足を解消し、革新を展開することが出来た。



専門家の声

氏名：高橋 憲示
保有資格：仕組家

専門分野：ナノブランディング

専門家の声：自社の強みや弱みは対象との関わり方によってどうでも変化する。大切なのは「世の中の為に事業を行うこと。」自社の売り上げは世に創った笑顔に乗じて増減します。ニーズの大きい公益的な事業の実施に企業の大小はありません。



事業者の声

様々な貴重なアドバイスが驚きの連続でした。未経験な事ばかりで、事業計画を進めていくにも一つ一つ勉強です。

先生には、その都度丁寧にご指導戴き、大変感謝しております。

一日も早く、社会の役に立つ存在意義のある「ノーマン」になれる様、今後も精進して参りたいです。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0031000000RxiaSAAR>

平成29年度専門家派遣事例

支援体制

専門家

河口 修 氏

支援

企業

合同会社 WOULD

業種: 不動産、物品賃貸業

従業員: 3人

資本金: 500万円

創業: 平成22年5月

住所: 千葉県南房総市白浜町滝口6734-2

企業概要: 不動産業

支援依頼

PF
地域

千葉県中小企業支援プラットフォーム

機関
構成

公益財団法人千葉県産業振興センター

相談

支援概要

支援の経緯

本企業は、南房総市で、不動産業、飲食業を業務としている。南房総市の地域の発展に力を尽くし、南房総市白浜町の海沿いの廃墟ビルをリノベーションし、カフェ、ゲストルーム、シェアハウス等の複合商業設備の設立および運営に精力的に取り組んでいる。近年、館山道が開通し、東京からの交通パスが増え、白浜を訪れる人が増加している。地域の交通手段としては、良好な自然環境を壊さないように電気自動車の活用が期待されている。風力発電の風車を新たな町の観光名所として観光地としての活用しつつ、発電事業および、EV車(電気自動車)の給電ステーション事業を開始することを予定している。まず、今年中に、風力発電を計画している。しかし、風力発電のノウハウが本企業に無いため、技術的なアドバイス、事業計画について相談したいと当機関に相談があった。

派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

当機関担当職員がヒアリングしたところ、小型風力発電事業で収益を確保出来るように、小型風力発電機の設置方法、収益性の良い機種、事業計画の策定についてアドバイスが必要となった。そこで環境エネルギーの専門家であり、技術的な内容に加え、事業展開という面の経営面においても指導出来る本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

まず設置候補地において、風況観測キットを利用し簡易的な風況調査をおこなった。調査の結果から最適な場所を決め、周囲環境の整備についても風の障害になる雑草の除去を行うことなどアドバイスした。また風況調査の技術データと付帯費用も含めて、6機種ある中で、最適な機種の選定や、機種選定から設置、設備立ち上げまでの計画、費用面についても助言、指導を行った。



設置風車予想図

成果

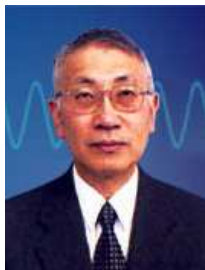
8月中に機種選定を最終決定することにより事業での利益確保が見通せる状況になった。設置予定地は風力発電には良好な場所であることが判明し、具体的な小型風力発電機の設置位置、設置スケジュールなども決定することができた。この事業計画を基に、事業資金に関しては、金融機関と交渉中であり、来年度の実現に向けて動いている。

風況調査の分析



専門家の声

氏名: 河口 修
 保有資格: 電気工学研究科修士
 専門分野: 自然エネルギー活用
 専門家の声: 近年、自然エネルギー活用について、相談を受けることが多い。当方が長年、一般企業で培ってきた電気の専門知識が活用出来て満足している。



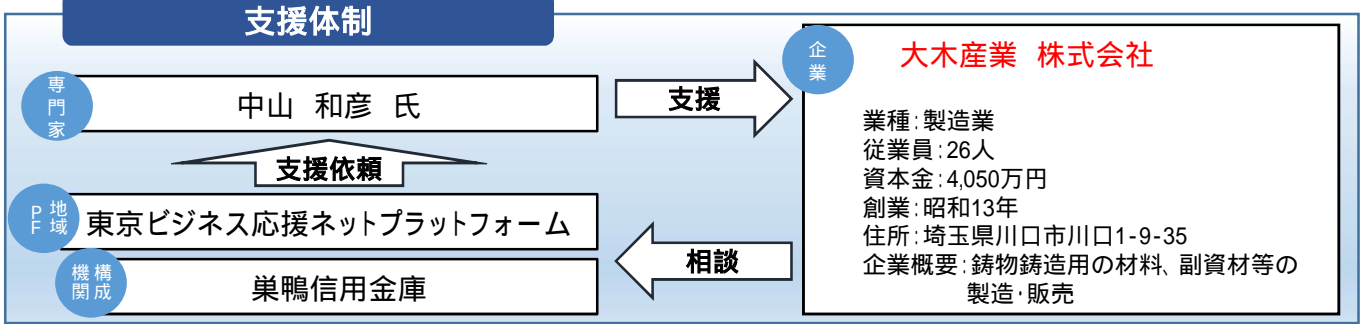
事業者の声

地元の白浜の地域発展についての思いは強い。ぜひとも、風力発電の事業化を進めたい。しかし、専門的な知識が無く、困っていた。千葉県産業振興センターに相談し、ミラサポを活用して専門家の指導を受けることが出来、大変満足している。指導して頂いた内容を生かし、事業化を進めて行こうと思う。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0031000000UQL5wAAH>

支援体制



支援概要

支援の経緯

本企業は大手自動車メーカー・発動機メーカー等へ鋳造用石炭微粉炭等の製造販売を行っている。生産拠点は、福島県小名浜工場、海外の関連会社。顧客のニーズにより的確に対応した製品を投入することで、業績は順調に推移しているが、経営者の高齢化が課題となっている。後継者であるご子息への事業承継をスムーズに行うために、適正で計画的な事業承継計画の策定、並びに資金調達方法に関して、当機関に相談があった。

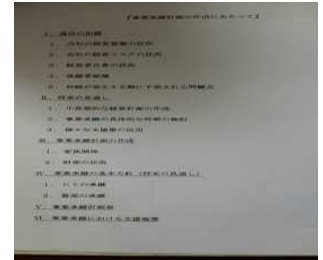
派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

当機関にて事業承継、資金調達(補助金)に関して、最新の情報や資料等を提供したところ、来期以降の事業承継に向けて計画的に実施したいとの要望を受けた。事業承継計画の策定について、専門家からの支援が必要であると判断。事業計画策定支援の実績が豊富であり、既に本企業からの信用・信任を得ている本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

事業承継計画の策定にあたっては、目的や事業展開の現状把握から財務分析等の経営分析を実施し、職務分掌・社内ルールなど組織体制の再構築などの計画書の骨子を提示した。また、課題の抽出や解決作成および海外関連会社との利害関係の健全化に繋がる実態バランスシートの作成を支援した。さらに資金調達について、金融機関との取引においては、融資だけでなく金融機関独自の情報・サービス等を受けて、業務に活かしていくことが重要であること。また、補助金や、助成金を活用するにあたってのアドバイスなども実施した。

事業承継計画書



成果

次期後継者は既に約10年在籍し、海外の関連会社の設立、原材料の仕入れ、営業面で辣腕を発揮している。今回事業承継計画を策定するにあたって、本企業及び関連会社の全貌を把握・分析したことで、組織全体のマネジメントが的確に実施できるようになり、業績の向上(売上10%UP)へ貢献した。資金調達に関しても、適正な補助事業計画を策定したことで、事業承継補助金を獲得することができた。今後も自らが率先して経営者としての自覚を持ち、積極的に取り組み、組織の将来を見据えた事業を的確に展開していくことが期待できる。

後継者と現経営者



専門家の声

氏名:中山 和彦
保有資格:中小企業診断士
専門分野:製造業、サービス業他
専門家の声:事業承継にあたって、法人と個人の生計分離が明確化していたこと、現経営者と、後継者(子息)の関係が非常に良好であり、特に、情報の共有化と、レスポンスが迅速であったことで、計画の策定がスムーズに進展しました。



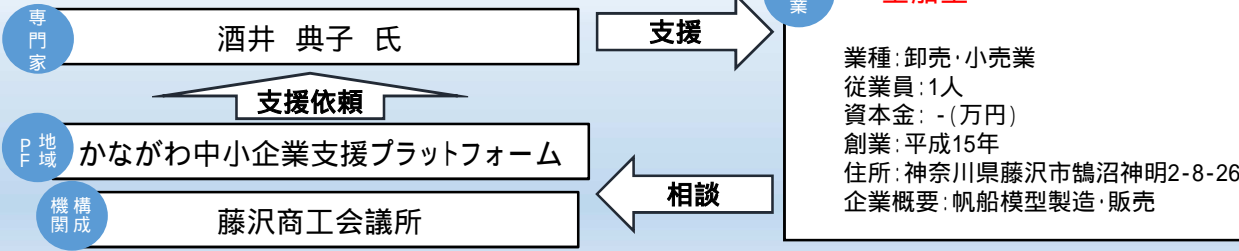
事業者の声

事業承継を契機に、本社及び関連会社の経営全般の現状分析を行い、計画的に事業承継を推進する必要性がありました。また、資金調達でも事業承継の補助金を活用したいとの思いから、これらの計画の策定にあたって、専門家からの意見や、アドバイスを受けて、実効性が高い内容を網羅しました。その結果、業績も向上し事業承継の補助金も獲得しました。
なお、この専門家からは従前もミラサポを活用し、ものづくり補助金、経営革新計画等におけるご支援により、当社のブランド力や、付加価値が向上し、新たに大手企業との取引を開始するなど、業績の向上に貢献して頂きました。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0031000000Rxj9IAAB>

支援体制



支援概要

支援の経緯

本企業は、藤沢市にて船舶(主に漁船)模型を製造・販売している個人事業者である。ハンドメイドによるフルオーダー商品のため制作から納品まで一定の期間がかかり、WEBを活用した販路開拓を検討中であった。想定ターゲット顧客へこれまで行ってきた地道な営業と組み合わせて受注活動を展開しているものの、経営資源の限界(制作期間中は新規顧客開拓が困難となる)から、新たな販路開拓等が必要とされていた。

派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

当機関担当職員がヒアリングしたところ、これまでの限られた時間の中での営業展開では限界があり、販促ツールも簡素なものであったため、販路開拓全般について見直しが必要であると判断した。また、経営資源が限定されていることからITも組み合わせた支援を検討することにした。その結果、独自ネットショップサイトを自身で運営し、ITを活用した経営力強化の支援経験が豊富な本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

まずは集客対策マップ作成し、方向性の認識を深めてもらった。そして経営資源を棚卸することで、外注先のスキル活用による新たな販路拡大を策定することができた。また、模型サイズによる価格設定とオプション展開を広げることで、生産性の見直しができ、新規顧客獲得とコスト削減につながる資源の活用が可能となった。さらに顧客ターゲット層を分け、商品提供方法を見直したことにより、制作から提供までの時間を削減することが出来た。HPにて特設サイトも改善し、販売導線を見直し、海外からの注目度を活かすために、日本の漁船という伝統文化の動画配信や交流会の開催からコミュニティの発生につなげられるようにした。さらに販路の新展開(サイト上での受注)を予定したHP・チラシの改善指導も行った。



改善を行ったホームページ

成果

これまでの支援で本企業のUSPが確立し、顧客ニーズに届くデザインのチラシとHPが完成した。早速チラシ効果を測るため、今まで取り組んだことのない市内の産業物産展へ出展した。その結果、想定外のヨット模型の修理メンテナンス受注という新たなニーズを把握できた。これをきっかけにヨット模型の新商品開発を行うと、藤沢市が2020年東京オリンピックのセーリング会場という追い風もあり、チラシを目にした企業から新商品の受注を受けた。



支援後に制作したチラシ

専門家の声

氏名:酒井 典子
保有資格:実務経験(ECサイト運営
2007年~)



専門分野:経営革新・IT活用
専門家の声:事業者の声に耳を傾けながら、経営資源や所有スキルに沿った支援策を提案しました。支援後に行うステップを明確化したことで、スムーズなホームページやチラシの改善から新商品開発に繋げることができました。

事業者の声

専門家の酒井先生に親切丁寧にご指導いただき、本当に感謝しています。また、経営指導員の方のアドバイスも大変役立ちました。

これまでの相談での提案いただいたことを活かし、販路拡大につなげていきたいと思っています。今まで思いもしていなかった商品ニーズに巡りあい、それが新商品開発につながり、即受注につながったことが大きな成果で、大変嬉しい限りです。今後とも商工会議所の方、専門家の先生に支援を受けたいと思いました。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0031000000kngf0AAA>

支援体制

専門家

佐藤 麻記子 氏

支援

企業

Berries (ベリーズ)

業種：農業・林業
従業員：1人
資本金：-(万円)
創業：平成19年7月
住所：新潟県佐渡市下横山750-1
企業概要：ブルーベリー栽培販売
各種ジャム製造販売
ハーブ関連商品販売

支援依頼

地域

新潟県中小企業支援プラットフォーム

機
関
成

公益財団法人にいがた産業創造機構

相談

支援概要

支援の経緯

本企業は、佐渡のトキ舞う田んぼの広がる地域において、自社農園で収穫するブルーベリーをはじめ、佐渡のフルーツを使ったジャム、ソースを製造販売。ハーブティー、ナチュラルフーズ、アロマテラピー関連商品など、健康と癒しにこだわった商品も販売している。特に自社で栽培・製造するブルーベリーソースは好評を得ており、自社以外でも販売されている。しかし、販売店等において、JANコードのシールを貼付けするため、そのシールがパッケージデザインのイメージを損ねていると懸念していた。そこで、現在のパッケージに抜けているJANコードなどを追加し、より分かりやすいパッケージデザインにするためにはどうしたらよいか、当機関に相談があった。

派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

本企業にヒアリングを行ったところ、新たな取引先から、JANコードの追加、より分かりやすいパッケージデザインへの刷新を求められていた。しかし、新たな取引先からの意見・要望と本企業の考えるパッケージのイメージや商品コンセプトが一致せず、パッケージデザインの変更が懸案課題となっていた。そこで、広告や販促物の企画・デザインに関するアドバイスについて、豊富な経験と実績を有する本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

本企業は、完熟果実の甘さを重視し、余計なものを添加せず自家製にこだわった「純粋なテイスト」を大切にしていた。また、パッケージデザインに対しても、『シンプルで素朴さをイメージさせるもの』にこだわりを持っていたことから、現状で足りないものや、不要なものを洗い出して、デザインに反映させることを提案した。そして、具体的にはJANコードは、現状のシールを直接瓶に貼付するスタイルから、必要な時に取り付けられタグ型を助言した。また裏面には、佐渡産を印象づけるため、「島で獲れるフルーツ」を強調するキャッチコピーの表現を提案した。

販売店でのシール貼付後(支援前)



成果

(下)タグ型のJANコード(支援後)

『商品コンセプトに合っている現状のパッケージを重視したい』との本企業の希望により、パッケージデザインについては、タグ型のJANコードに変更することでおおむね現状維持とすることができた。新しい取引先からは「こだわりを持っていて良い」との言葉をいただいた。また、タグ型のJANコードに関しては、新たな取引先への納品に間に合うように製作ができた。現在は、新パッケージを商談会等で披露し好評を得ている。今後も、瓶を入れる箱もリニューアルし、さらなる販路拡大が見込まれる。



専門家の声

氏名：佐藤 麻記子
保有資格：なし
専門分野：販路拡大・販促支援
専門家の声：コンセプトがしっかりと定まった商品のため、商品が持つ特性や既存のパッケージを生かして、あえて刷新せずに、不足部分を補う提案をしました。結果、パッケージ変更の費用を抑えることもできました。



事業者の声

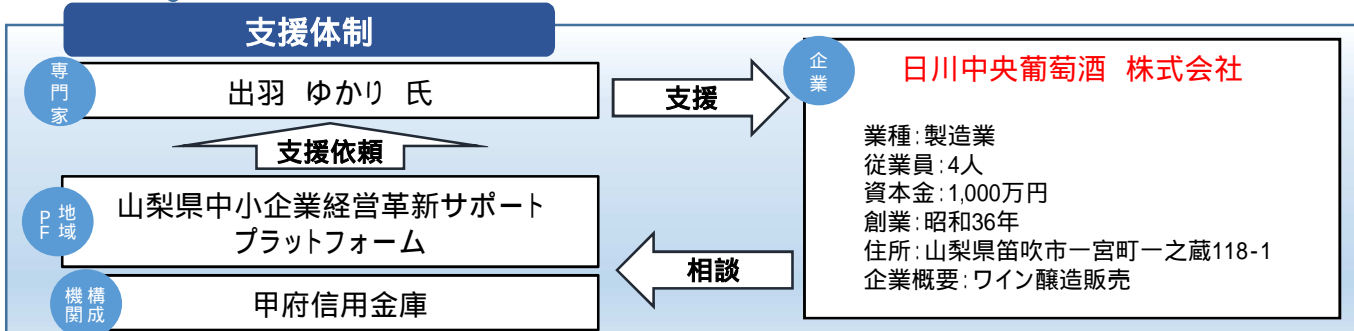
佐藤さんは、問題提起力、提案力も高い方で、こちらの伝えたい事だけでなく、受け手側にも考慮した制作物の提案ができて、様々な方面にアンテナを張り巡らせて研究されています。今回も細かな事でしたが、全体のパッケージを大きく変える事なく、また経済的負担の少ない方法での提案をして頂きました。小さな事業者にとっては、一人で悩み考え込む事が多いですが、専門家の先生に相談出来る事は、経営する上で大変ありがたい支えです。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0031000000gHuqRAAS>

平成29年度専門家派遣事例

支援体制



支援概要

支援の経緯

本企業は、フルーツ大国であり、日本を代表する葡萄・ワインの産地である、山梨県笛吹市一宮町にてワインの醸造販売業を営んでいる。山梨県産の葡萄を100%使用しており、地元の消費者に根強い人気のあるワインを提供している。代表者は、後継者である長女と長女夫が入社することにあわせて、以前からワインラベルのデザインを刷新することを検討していたことから当機関に相談があった。

派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

本企業へヒアリングを行うと、本企業のワインのブランディングに取り組みラベルの刷新を行うことで、既存固定客だけではなく新規顧客の取り込みを図りたいことがわかった。後継者も若く、若年層にも受け入れられる斬新なデザインを求めていることから、デザインの専門家であり、販路拡大支援においても経験豊富で都心での活動実績もあり、最先端のデザインを周知している本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

まず初めに、代表者から具体的なデザインのイメージをヒアリング。その後、後継者も交えてデザインを検討した。本企業の歴史や立地、技術などを考慮した上でのデザインをアドバイスし、打ち合わせを重ね、代表者・後継者双方が満足のできるデザインに仕上げた。ラベルのキャッチコピーから味わいが伝わりやすく、エンドユーザーに思わず手に取っていただくためのアドバイスも行った。また、オンラインでラベルのオーダーが可能な印刷会社の発注方法なども紹介し、コスト面での指導もした。



専門家の支援により完成したラベル(赤・白)

成果

ラベルのデザインだけでなく、ネーミング、ボトルの形状、ラベル記載の文言、実際の店舗販売時の見栄えなど、多岐にわたってアドバイスをいただき、最終的にnovie(ノヴィス)というフランス語で『新入り、初心者、初級者』という意味のワインをブランディングすることができた。将来的にもかつて初心者だった後継者が初心を忘れないように命名したというストーリーが構築され、今後の販路拡大に効果的に繋げる予定である。



最終的に完成したデザイン

専門家の声

氏名: 出羽 ゆかり

専門分野: ものづくり/創業/地域資源活用/販路拡大/販促支援

専門家の声: 今回仕上がったラベルは、社名の日川をモチーフに、明るい色合いで、新酒の華やかさを表現しました。気軽にお楽しみいただけるという印象付けのため、味わいや親しみやすいペアリング食材なども記載しています。若年層にも受け入れられるデザインというオファーの他、包装の手間やコスト削減の課題も、仕様変更をご提案することでクリアできたと考えております。



事業者の声

商品の顔と言われますラベルデザインをリニューアルしました。今までは必要事項のみ表示で硬いイメージのラベルでしたが、今回ソフトな感覚のデザインへの変更と共に商品説明文を新たに追加しました。そしてデザインとの統合性を重要視し、判りやすく、スッキリとしたデザインでより多くのお客様に当社の製品を伝え販路拡大を目指しました。女性のお客様を念頭に女性のデザイナーに支援を依頼し、女性ならではの視点で、柔らかなイメージ、色使い、分かりやすいレイアウト、ボトルの色、形状等を考慮した中でトータル的に満足のいく素晴らしいラベルが完成しました。今後はこのデザインを当社の基調としてそのほかの商品にまで広げて行き、より一層の販路拡大を目指します。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0035F00000vfrOFQAY>

支援体制

専門家

尾澤 章 氏

支援

企業

クロスエーエム 株式会社

業種: サービス業
 従業員: 10人
 資本金: 300万円
 創業: 平成4年
 住所: 長野県飯田市上郷飯沼3545
 企業概要: 飲食店

拠点支援
よろず

長野県よろず支援拠点

相談

支援概要

支援の経緯

本企業は平成4年に創業し、平成24年に「キッチン大さじ」を開店した飲食店である。自家栽培の減農薬野菜と手づくり料理の昼食を提供してきたが、新たに近隣の畜産農家から黒毛和牛(阿智村)、くりん豚(喬木村)の仕入れが可能となったことをきっかけに、付加価値を高めるディナーの売上向上策を考えていた。しかし、現状のHPの運用がままならず、効果的な宣伝ができないため困っていたことから、当拠点に相談があった。

派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

当拠点のCOがHPの運用状況についてヒアリングを行ったところ、制作元が遠方で連絡がつきにくく、十分なサービスを受けられないこと、本企業としてもHPの知識を深めて臨機応変に運用していきたいことが明らかになった。そこで、HP制作と個別指導を行っており、集客やマーケティング、オリジナルの商品開発に実績があり、しかも近隣に在住して指導を受けやすい本専門家に依頼した。

メニュー撮影のポイントもアドバイス

専門家による具体的な支援内容

新たにディナー向けメニューを設定し、本企業自身では更新不能な現状のサイトから、自社に更新可能な新HPへの移行を支援した。単なるサイトリニューアルではなく、売上目標やオペレーションも踏まえた店舗運営の両面で、現場で継続しやすい形に落とし込むことに配慮した「売りとなるメニュー」の絞り込みを行った上でのサイト構築を支援した。新たなメニューの写真撮影についてもライティングの使い分け、構図の作り方、トリミングを想定した画角の作り方、メニューへの反映を想定した素材と商品に分けた撮影等、具体的にアドバイスした。支援後は、スマートフォンからも閲覧しやすいサイトを構築することが出来た。今後は本企業自身で、SEO対策を意識したサイト運営のスキルアップに期待したい。



成果

ディナーの売りとなる新メニュー「南信州黒毛和牛」「同くりん豚(トン)」の提示により訴求力が増し、スマートフォンから閲覧しやすくなったこともあり、名古屋など遠方からもご来店いただけるようになった。HP操作運用の個別指導を受け、発信力をつけることができた。

これまで夜間の集客が少なかったが、自信をもってアピールできるようになり、集客は上向いている。昼食に加えて夜間の集客向上により30%の売上増加を見込んでいる。



訴求ポイントを絞ったHP

専門家の声

氏名: 尾澤 章
 保有資格: ITコーディネータ
 専門分野: ホームページ構築・事業計画策定



専門家の声: 自社更新ができない既存サイトから新HPへの移行支援。担当者が初心者という事もあり、地方におけるネット集客の基本や、SNSとの効果的な連動についても指導を行った。

事業者の声

メニューを絞り込むアドバイスにより、余分な材料が不要になり材料コストと廃棄ロスが減少すると共に、人手による作業が効率化でき、手の空いた分お客様へのきめ細かなサービスを充実できるようになった。

HPに対する不安が無くなり、写真や印刷のネットワークが広がったので新メニューの提案がし易くなった。余勢をかってフェイスブック、ツイッターにも手を広げるきっかけとなった。これからは、同じ味を崩さないよう気を配り、ネットからのアピールを強化して売上30%増加を達成したい。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000U5hZjAAJ>

平成29年度専門家派遣事例 11

支援体制

専門家

宮角 良介 氏

支援

地域
P F

静岡県中小企業支援プラットフォーム

機関
構成

遠州信用金庫

相談

企業

有限会社 松野エクスプレス

業種：運輸・郵便業
従業員：17人
資本金：800万円
創業：昭和36年
住所：浜松市浜北区根堅1460-1
企業概要：一般貨物運送業

支援概要

支援の経緯

本企業は主要顧客(トヨタL&F静岡(株))からフォークリフト輸送業務を任されている一般貨物運送業者である。緊急時の輸送業務に支障がないように、継続したサービスを提供することで顧客の信頼を得るとともに、事業継続を確実に、することで事業基盤の安定を図っていききたい。また、災害時におけるお客様、従業員及び従業員家族の安全と安心の確保についても当機関に相談があった。

派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

当機関担当職員がヒアリングしたところ、本企業は【緊急時の対応についてのマニュアル】がない事に危機感を抱いていた。また企業価値向上のPRの意味も兼ねて、静岡県BCPモデルプラン申請に強い意欲を示していた。そこで当機関にて過去にもBCP導入に実績があり、知識の豊富な本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

想定されている南海トラフ巨大地震で甚大な被害に見舞われても、主要顧客へのサービス提供を継続することを目標に、静岡県が作成したBCPモデルプランを参考雛形として活用する形で、BCPの作成を行った。特に守るべきサービスを提供するために必要となる人・設備・輸送手段・関連取引先などが十分に機能しないあるいは不足する場合の代替策を含めた対応について、被害の程度なども加味し事業継続戦略を検討・決定した。また、実際に災害が発生した場合、これら継続戦略が機能するよう初動対応・安否確認・緊急連絡先・代替拠点確保・対策本部立上げなどについて、具体的手順や体制について整理し、完成したBCPの見直し・改善や教育・訓練も計画した。



静岡県BCPモデルプラン

成果

巨大地震への備えの必要性は認識されていたが、どのような考え方でBCPを進めれば良いかがわからないままであった。今回の支援を通じて、BCP作成に必要な要素や検討すべきポイントについて理解できた。またBCPの作成を行うこともできた。加えて静岡県信用保証協会の激甚災害時の特別保証制度への申込を行うことができた。さらに、BCPを策定する上で自社の事業構造を整理することができ、災害時のみならず平時にも役立つ多くの気づきを得ることができた。



作成BCP

専門家の声

氏名：宮角 良介

保有資格：事業継続准主任管理者

専門分野：BCP、IT活用経営

専門家の声：BCPの必要性についての意識が高かったため、スムーズに支援が行え、短期間でBCP策定につながった。また、BCPを平時の事業活動に生かせることにも気づいていただけた意義は大きいと感じた。



事業者の声

災害時に主要顧客への継続したサービスの提供が可能か考えている中で、明確で具体的なご指導によりBCP策定に到り感謝しています。

事業継続及び早期復旧への作業、従業員及び従業員家族、来客の安全と安心、雇用を守ることができ、従業員間での信頼関係も構築できました。

BCP策定で得られた対策やノウハウ等を活かし平時のサービス提供につなげることも推進していきます。

素晴らしいご支援をありがとうございました。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000RxiagAAB>

平成29年度専門家派遣事例 12